

関係高等学校長 様

北海道高等学校教育研究会長
(北海道札幌旭丘高等学校長)
石 黒 清 裕

北海道高等学校教育研究会情報部会長
(北海道札幌東豊高等学校長)
毛 内 顕 史

北海道高等学校教育研究会情報部会キャラバン研究会の開催について (ご案内)

初夏の候 貴職におかれましては、ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。また、本会の運営および活動に対しまして、平素より格別のご理解とご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、本会では、標記のとおりキャラバン研究会を開催いたします。

このキャラバン研究会では、情報科が目指す教育の成果が全道にしっかりと根付き、生徒の学習意欲が高まることなどを目指して、実務的な研修を行います。学校事情などにより1月の研究大会に参加できない先生方、特に都市部から離れた地で教科「情報」を一人で担当して悩みを抱えている先生などに、ぜひ研修の機会を設けたいと情報部会会員の総意で始めたものです。

また、このようなキャラバン研究会の趣旨から、情報に対する見方や考え方といった知見を他教科の学習活動やそれ以外の教育活動にも活かそうとする、情報科以外の先生方にも数多く参加して頂きたいと願っております。

つきましては、時節柄ご多忙の中とは存じますが、情報教育に広く興味関心を持つ先生方に対するキャラバン研究会の周知と参加について、特段のご配慮をお願い申し上げます。

記

添付書類

1. 開催要項
2. 参加申込書(FAX送付票)

情報科担当教諭

情報機器等の活用に関心がある教職員 様

北海道高等学校教育研究会長
(北海道札幌旭丘高等学校長)

石 黒 清 裕

北海道高等学校教育研究会情報部会長
(北海道札幌東豊高等学校長)

毛 内 顕 史

北海道高等学校教育研究会情報部会キャラバン研究会の開催について (ご案内)

初夏の候 貴職におかれましては、ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。また、本会の運営および活動に対しまして、平素より格別のご理解とご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、本会では、標記のとおりキャラバン研究会を開催いたします。

このキャラバン研究会では、情報科が目指す教育の成果が全道にしっかりと根付き、生徒の学習意欲が高まることなどを目指して、実務的な研修を行います。学校事情などにより1月の研究大会に参加できない先生方、特に都市部から離れた地で教科「情報」を一人で担当して悩みを抱えている先生などに、ぜひ研修の機会を設けたいと情報部会会員の総意で始めたものです。

また、このようなキャラバン研究会の趣旨から、情報に対する見方や考え方といった知見を他教科の学習活動やそれ以外の教育活動にも活かそうとする、情報科以外の先生方にも数多く参加して頂きたいと願っております。

つきましては、時節柄ご多忙の中とは存じますが、皆様にキャラバン研究会にご参加いただきたく、ご案内申し上げます。

記

添付書類

1. 開催要項
2. 参加申込書(FAX送付票)

北海道高等学校教育研究会情報部会キャラバン研究会(サマースクール in 札幌)開催要項

1. 開催日時

平成29年8月7日(月) 9:30~16:00

平成29年8月8日(火) 10:00~16:15

2. 主催

北海道高等学校教育研究会情報部会

3. 会場

北海道札幌北高等学校 (3階コンピュータ教室)

〒001-0025 札幌市北区北25条西11丁目

TEL:011-736-3191 FAX:011-736-3193

4. サマースクールとは

キャラバン研究会とは高教研情報部会が主催している、様々なテーマに沿ったワークショップを道内各地で開催する研究会のことで、これは情報科が目指す教育の成果が全道にしっかりと根付き、生徒の学習意欲が高まることなどを目指したものです。学校事情などにより1月の研究大会に参加できない先生方、特に都市部から離れた地で教科情報を一人で担当して悩みを抱えている先生などに、ぜひ研修の機会を設けたいと情報部会会員の総意で始めたものです。

中でも夏のキャラバン研究会はコンピュータやネットワークに関する知識や技術の向上を目的とした内容を実施しています。私たちは日頃から授業に活用できる多くのことを学びたいと考えていますが、なかなか実現できずにいます。そこで夏期の連続した2日間をサマースクールと銘打ち、体験的な学習に集中的に取り組む学びの場としたいと考えています。一昨年度はLinuxの校内ネットワークへの導入や授業への活用方法について、昨年度は今回と同様にプログラミングについてワークショップを行いました。

5. 実施内容

『はじめての(学びなおしの)プログラミング』

昨今、プログラミングは一躍脚光を浴びています。習いごととしてプログラミングを学ばせることは密かにブームになりつつありますし、文部科学省が小学校のカリキュラムにプログラミングを導入することを検討しているというニュースは記憶に新しいところです。

プログラムとは「コンピュータに対する命令文」のことですが、これを学ぶことは単にアプリケーションソフトウェアを作成することだけに役立つのではなく、目的を実現するための手順を具体化することや、複雑な考えをシンプルなルールの組み合わせによって理解しやすくすること等、様々な効果があります。

今回は昨年度に引き続き『はじめての(学びなおしの)プログラミング』と題して、コンピュータやネットワーク機器に関する知識や技能に関して全く自信のない方を対象に、実際にプログラムを作成しながら、授業への活用を意識した内容のワークショップを実施いたします。『はじめて』ではなくても、一から学びなおしてみたい方も大歓迎です。

今回のサマースクールでは4つのプログラミング言語(JavaScript・Python・Processing・ドリトル)を取り上げます。参加希望の方は、それぞれのプログラミング言語について、以下の紹介文を読み、選択し、申し込みをしてください。昨年度、参加された方は前回と違うプログラミング言語を選択することをお勧めします。

①JavaScript

ファシリテータ 札幌英藍高校 梅田 充 教諭

JavaScript は、プログラムを Web ページの HTML の中に埋め込み、ブラウザ上で実行することができるプログラミング言語です。情報の教科書で扱われることもあるので、ご存知の方も多いのではないのでしょうか。

今回の講座では「ただ単に実行してその結果を見るだけ」のような教科書の例題のようなプログラムではなく、Web ページを見た人が何かを入力したりボタンを押したりといったアクションに対して何らかの結果を示すといったインタラクティブ（ユーザの入力に対して反応のある）なプログラムを作成します。

具体的には、クイズや占い、そして「～メーカー」のような Web ページの作成を目指します。みなさんで楽しい Web ページを作りましょう。

②Python

ファシリテータ 有朋高校 奥村 稔 教諭

Google や Facebook も採用するメジャーなプログラミング言語です。だから Python は、それを学ぶことで、私たちに大きな志を与えます。

主要な OS のどれでも動作します。だから Python は、自分のプログラムがどこでも動くことで、私たちに大きな喜びを与えます。

シンプルな構文で試行錯誤ができます。だから Python は、覚える内容が最も少ないことで、私たちに大きな安心を与えます。

様々なレベルの解説サイトや書籍が数多く存在します。だから Python は、学び始めの敷居が低いことで、私たちに大きな動機を与えます。

インストール不要の便利な開発環境があります。だから Python は、効率的なアルゴリズム学習を可能にすることで、私たちに大きなパワーを与えます。

③Processing

ファシリテータ 札幌北高校 前田 健太朗 教諭

Processing は、プログラムで簡単にグラフィックを描ける言語です。例えば、四角形や円などの平面図形や、立方体や球などの空間図形を描けます。さらに、描いた図形にアニメーションとして動きをつけることもできます。しかも、このようなプログラムが数行のコードでできちゃうのです。

だから、誰でも簡単にプログラムをつくることができます。コードを入力することやエラーを直すことに時間を取られることもありません。すぐにプログラムを実行できます。きっと、グラフィカルな実行結果を楽しみながらプログラミングの学習を進めることができるでしょう。

これからプログラミングを学ぼうという人はもちろん、他の言語をちょっと学んだことのある人にもオススメの言語です。一緒に Processing を学んでみませんか。

④ドリトル

ファシリテータ 伊達高校 伊藤 崇 教諭

ドリトルは大阪電気通信大学教授の兼宗進先生によって開発された教育用プログラミング言語で、日本語で簡単にプログラムを作ることができます。

ドリトルを利用すると初学者でも挫折することなく楽しくプログラミングを学べる上、現在主流のオブジェクト指向やイベント型のプログラミング感覚を身につけることができます。そのためドリトルの人気はとて高く、全国各地で小学校から大学まで幅広く活用されています。

ドリトルはタートルグラフィックスを利用して、アニメーションやゲームを簡単に作ることができます。また、楽譜を文字で入力し、音楽を演奏することもできます。そして、昨年からはアーテック社のロボット教材「ロボティスト」を制御できる機能が加わり現在も進化を続けています。ドリトルを授業に導入すると生徒の反応が大きく変わります。ぜひ、ドリトルの魅力的な世界を一緒に体験してみましょう。

6. 日程

1日目 (8月7日)

9:30	9:50	10:00	10:50	11:05	11:55	12:55	13:45	14:00	14:50	15:05	15:55	16:00
受付	開会式	1時間目 (50分)	休憩 (まとめ 準備)	2時間目 (50分)	昼休み (60分)	3時間目 (50分)	休憩 (まとめ 準備)	4時間目 (50分)	休憩 (まとめ 準備)	5時間目 (50分)	1日目 終了 諸連絡	

2日目 (8月8日)

10:00	10:50	11:05	11:55	12:55	13:45	14:00	14:50	15:05	15:55	16:15
6時間目 (50分)	休憩 (まとめ 準備)	7時間目 (50分)	昼休み (60分)	8時間目 (50分)	休憩 (まとめ 準備)	9時間目 (50分)	休憩 (まとめ 準備)	10時間目 (50分)	まとめ・座談会・閉会式 *資料書籍紹介・授業での 実践・質疑応答	

- ・ワークショップのそれぞれのコマは通常の授業時間 (50分) で完結する内容です

7. 参加費

参加費は無料です。

8. 参加申し込み

参加申込書に必要事項をご記入の上、下記の担当へ FAX または電子メールでお申し込み下さい。

9. 申し込み・問い合わせ先

北海道札幌英藍高等学校

〒002-8053 札幌市北区篠路町篠路 372 番地 67

TEL:011-771-2004 FAX:011-771-2013

担当: 鶴間 伸一 e-mail: neo_turuq@yahoo.co.jp

10. その他・注意事項

- ・研究会への参加は本研究会会員である必要はありません。
- ・本年度は原則として2日間連続での参加をお願いします。特に2日目のみの参加はご遠慮ください。
- ・コンピュータの台数の関係で人数制限がございます。お早めにお申し込みください。また、調整が必要な場合も考えられますので、希望するプログラミング言語は第2希望までお知らせください。また、調整が必要な場合は別途ご連絡を差し上げます。
- ・7日、8日の昼食(¥700/1食)を希望する場合はご記入をお願いします。
- ・研究会2日目、8月8日(火)18:00より札幌駅近辺で懇親会を行います。ご都合がございましたらぜひご参加ください。
- ・申し込み締め切りは7月28日(金)までとなっております。

FAX送信票 (鑑は不要です)

平成29年 月 日

送信先	北海道札幌英藍高等学校 担当 鶴間伸一 宛
FAX番号	011-771-2013

参加申込書

北海道高等学校教育研究会情報部会キャラバン研究会(サマースクール in 札幌)

参加申込者氏名	担当教科	希望するプログラミング言語 (番号)		昼食(700円/一食) (○ ×)		懇親会参加(○×)
		第1希望	第2希望	7日	8日	
		お名前				
メールアドレス @						
お名前						
メールアドレス @						
お名前						
メールアドレス @						
お名前						
メールアドレス @						

*希望するプログラム言語を、第2希望まで、番号でお答えください。

①JavaScript ②Python ③Processing ④ドリトル

*メールアドレスは連絡に利用させていただきます。

*昼食の選択および懇親会の参加に○または×印を付けてください。